

はあもに

Harmony

To Women
For Women
and By Women

第4号
2021年5月発行



特集
わたしたちは
同じ世界に
生きている



信仰と、希望と、愛、
この三つは、いつまでも残る。
その中で最も大いなるものは、
愛である。

聖書 コリントの信徒への手紙一 13章13節

THESE THREE REMAIN:
FAITH, HOPE AND LOVE.
BUT THE GREATEST OF
THESE IS
LOVE.

1 CORINTHIANS 13:13



インタビュー

あなたが大事だから

～それぞれの選択を支える女性支援の働きから～

救世軍の女性支援の働きに従事するお二人の方にお話を伺いました。
長い経験をもっておられるAさんと、中堅のBさんです。
(女性を保護する働きは、シェルターの機能があるため、施設名や
お二人の名前を伏せています。)



Aさん 大学時代に、女性のための働きに興味をもちました。売春は、本人が好んでするものではなく、いろいろな環境の中でそれを選択せざるを得ない状況になっているのではないかと考え、女性と環境についてもっと学びたいと願い、ここで働くようになりました。実際に働いてみてすぐに、ここはそのことを学ぶ場所ではなく、一人ひとりに寄り添う場所である気がしてきました。ここにはたくさん女性の人生が詰まっています。答えは一つではありません。利用者に救われたり励まされたり、女性の生きざまに共感することもあり、わたし自身成長させていただいたから、働き続けていられるんだと思います。

Bさん わたしも大学で福祉を学びました。姉妹の中で育ち、女子校に通っていたので、共学の大学に進学した時に、社会の中に男女の区別がすごくあると感じました。女性学の授業の中で、同じことをされても赤の他人なら傷害罪になるのに、夫と妻という関係の中ならそれが不問になってしまうことに疑問を感じ、女性に関わる仕事に興味をもちました。勤めてみて、利用者との関わりを通して、わたしも自分自身を振り返る機会を日々もたせてもらっています。働きながら、自分も利用者も一人の人間だと、より感じさせられています。相手をどこか違う世界で生きている人ではなくて、自分と同じ世界で生きている今ここにいて、ということを実感し尊重しながら、相手に接することが大切だと思います。

特集

わたしたちは

同じ世界に生きている

DV、虐待、ネグレクト、疾病：さまざまな理由から女性のための施設で生活する女性たちがいます。

また、コロナ禍にあつて非正規雇用の女性たちが職を失い、女性の自殺者が増加しています。

家庭内の悩みや、仕事や健康上の問題など、周りからは見えないけれど誰にも言えない大きな重荷を抱えて生きる女性たち。

わたしたちもまた、彼女たちと同じ世界に生きています。



女性のための仕事をするようになったきっかけを教えてください。

PRESENT

プレゼント企画

「はあもに広場」に投稿しませんか？ 投稿してくださった方の中から抽選で3名様にプレゼント！

今回の広場テーマ 「ステイホームを充実させたわたしの一品」
趣味、家電やレジャー用品、便利グッズなど

上記の投稿内容とご希望のプレゼント番号(3の場合は色もお選びください)、お名前、ご住所を書いて、右のQRコード、またはメール・ハガキ・FAXで下記お問い合わせ先へご応募ください。『はあもに』のご感想もぜひお寄せください！
(6月30日締切。当選結果は商品の発送をもって代えさせていただきます)



1 フランスにある救世軍の「女性会館」が舞台となった本 「彼女たちの部屋」



本特集に通じる内容で『はあもに』読者にオススメの一冊！

『彼女たちの部屋』
レティシア・コロバンニ 著
齋藤可津子 訳
定価1760円(税込)
早川書房

舞台はフランスのパリ。約100年前に、この地で、救世軍士官(伝道者)のブランシュとその夫は、行き場のない女性たちを保護する「女性会館」を開設した。不可能を可能にしてくださいと神様に信じ、身も心も捧げ走り切った彼女の生きざまが、実話をもとに描かれている。それと並行して描かれているのが、現代を生きる女性弁護士ソレーヌの人生。学歴とキャリアを着実に積んでいた彼女はうつ状態になり、生きる気を失くしていた。その彼女が、ボランティアとしてこの「女性会館」を訪れる。そこで出会うDV被害者、元街頭生活者、移民の女性たちを通して彼女が得た、かけがえのないもの…。今の社会に、私たちに、必要なものについて問いかける一冊。

2 OTHERSオリジナル商品 ハンドメイド刺繍ポーチ



Mサイズ：縦12×横16cm
定価1760円(税込)



3 OTHERSオリジナル商品 ボランティアエプロン (赤か青をお選びください)



定価825円(税込)

※「OTHERS」は、救世軍オリジナルのフェアトレードブランドです

発行日 2021年5月1日 はあもに第4号
定価 200円(税込・送料別) 年間3回発行
発行所 救世軍本営 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17
TEL: 03-3237-0881

発行者 スティーブン・モーリス
編集責任者 ウェンディ・モーリス
編集者 西村和江 石川芳子 平本征子 齋藤恵子 関根悦子
田中民(グラフィックデザイナー)
創立者 ウィリアム・ブース
大将 ブライアン・ベドル

聖書は新共同訳を使用しています ©共同訳聖書実行委員会 ©日本聖書協会
©本誌掲載の記事・写真・イラスト等の無断転載・使用を禁じます



救世軍は、キリスト教(プロテスタント)の教会で、伝道活動とともに、様々な問題で苦しみ、助けを求めている人々のために、130以上の国と地域で社会福祉・教育・医療などの支援を行っています。
救世軍について詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.salvationarmy.or.jp>

次号は2021年9月発行

『はあもに』定期購読のご案内

* 売上の一部を一円献金として海外支援に用います

定期購読料	1冊200円(税込・送料別)
	年間3回(1月、5月、9月)発行
	合計600円(税込・送料別)

ぜひ定期購読をお近くの救世軍へお申し込みください

お問い合わせ

救世軍本営 女性部はあもに係(QRコード右)
TEL: 03-3237-0881(代) FAX: 03-3237-3588

E-mail: jpn.women.harmony@jpn.salvationarmy.org

Address: 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17

万国女性部から
世界の女性たちへ

現在、万国女性部(International Women's Ministries)では、あらゆるソーシャルメディア(SNS)を活用して世界中に最新ニュースや活動の様子を発信しています。救世軍の女性の働きは、130年以上前にフローレンス・ブースによって始められ、現在も世界中でその使命が受け継がれています。
2020年にSNSで発信された内容の一部をご紹介します。

万国女性部とは、イギリスにある救世軍の国際本部(万国本営)で世界中の救世軍で行われている女性の働きを統括する部門です。



ルワンダの救世軍

ルワンダでは、貧しい食生活のため、多くの子どもたちが十分な栄養を摂ることができません。救世軍は政府と連携して、栄養不良の子どもたちを支援しています。
写真は、栄養のあるお粥を、地域の子供たちに食べさせているところです。
さらに、地域の女性たちと協力して、集まった母親に栄養指導を行っています。

INTERNATIONAL HARMONY NEWS

海の向こうから
はあもにニュース

Facebook / Twitter / Instagram / YouTube

Salv Army Women

フローレンス・ブース
(1861-1957)

救世軍で初めて人身取引対策を始めたフローレンスは、ブラムエル・ブース(救世軍の創立者ウィリアム・ブースの息子)の妻で、女性が低い地位にあった時代に声を上げることができなかった人々のために発言し、1884年、イギリス・ロンドンの東部にある小さな小屋で、救援活動を始めました。この施設は、傷ついた女性を安全な社会へ復帰させることを目的として設立されました。活動を始めたことにより、闇の世界で女性や少女が性的に搾取されていることを知り、調査を開始。外部の協力者を得て、法律を変え、命を救う多くの働きをしました。その後の30年間で、世界の救世軍の救援施設は117に増えました。
彼女が最初にこの事業を始めて130年以上が経過した今日、救世軍の取り組む現代の奴隷制と人身取引との戦いは多岐にわたりますが、「自由のための戦い」という使命は同じです。

「わたしは、変化は必ず訪れるという希望を捨てません。今わたしたちができることは、人々を愛と美徳のうちにとどめるために力を尽くすことです。」(フローレンス・ブース)



パキスタンの救世軍

パキスタンでは、若い女性たちに読み書きを教えています。読み書きのスキルを身につけることで、生活するために必要な文書を理解したり、自分で聖書を読んで勉強したり、身近な社会問題に対応したりすることができるようになります。これは彼女たちの人生を変える大切な働きとなっています。